



江南の子

令和5年度
第9号

関わり合って生まれる幸せ

校長 藤塚 静治

休み時間に校舎内を歩いていると、子どもたちは元気に、あるいは丁寧に「こんにちは」と挨拶の声を掛けてきます。私も笑顔で挨拶を返します。これからも気持ちよく一緒に生活していきたいと思える瞬間がたくさんあることは、とても幸せなことです。

挨拶の後、さらに会話が続くことがあります。「校長先生、聞いて、聞いて」「見て、見て」と言いながら、自分が関心をもっている物事について紹介してくることが多いです。例えば、飼い始めた生き物の話や上達した鉄棒技のことを、楽しそうに伝えてきます。

ある日、かえるの折り紙を見せてくれた2年生の子どもがいました。折り方に仕掛けがあって、床に置くと、間もなくぴょんと跳ぶのです。私は、思わず感嘆の声をあげました。話を聞いていくと、その子どもはうまく作れたうれしさに、「実家の茶の間・紫竹」へ訪問した際の喜びが加わって知らせてきたということが分かりました。

先日、2年生は「実家の茶の間・紫竹」を訪ね、利用者の方々と交流してきました。生活科の学習として、身近な物をおもちゃにして遊ぶことで工夫を考え創り出す面白さを味わうこと、遊びから様々な人と関わり合うこと、地域には公共施設などの場所があることや利用者や支援者に気付くこと、地域に親しみをもって生活したり進んで交流したりすることができるようになることを目的に実施されました。訪問後、子どもたちは、



利用者の方が作った指先よりも小さな折り鶴に、子どもたちは驚いていました。

- ・ パッチンジャンプで遊びました。楽しかったです。一生懸命に作ったおもちゃをおばあさんが「楽しいね」と言ってくれて、とてもうれしかったです。
- ・ お年寄りの方と遊びました。おもちゃの作り方を教えると、喜んでくれてうれしかったです。とても楽しかったです。
- ・ 友達が作り方や遊び方を説明していて「いいね」と思いました。どうやって遊ぶのかと聞かれたから、半分に折って遊びますと答えました。楽しかったです。

といった感想をもっていました。活動に進んで取り組めたり、茶の間の方々と積極的に交流したりと、子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。みんなで江南の子に育てている資質・能力「認め合い、かかわる力」「進んで励み、やり抜く力」を、発揮させたり伸ばしたりするのにより学習機会となりました。しかも、誰もが笑顔で気持ちよく一緒に過ごしていました。人と人の関わり合いを通して幸せな時間を過ごしている様子から、このような機会を今後も大事にしていきたいものだと強く思いました。



思い出のアルバム～5年・氷上スポーツ体験～



12月15日に、5年生はMGC三菱ガス化学アイスアリーナへ氷上スポーツ体験に行ってきました。

アリーナの中は外よりも寒く、初めは驚いていた子どもたちも、準備をしてリンクにあがり、滑り始めると、寒さも忘れ元気いっぱいアイススケートを楽しんでいました。初めて滑る子、何度か経験のある子、上手にすいすいと滑れる子と様々でしたが、どの子も楽しみながら活動することができました。



最初は壁につかまって立つのがやっとでしたが、



徐々に氷の上でも滑れるように！



全身で氷を感じています！



軽快に

慣れてくるとすいすいと滑れる子が多くなってきました♪さすが5年生のみんなです！

どの子も一生懸命に活動に参加していました。どんどんうまくなる子どもたちの姿は、見ていてとても頼もしさを感じました。『さすが高学年!!!』です。これからも様々な活動を通して、江南小のリーダーとして成長してくれることを願っています!!!

